

(例7) 様式NO. 4-1

コンテナ個数・シャーシ台数集計表

輸出

データ区分	※修正区分	都道府県名	港湾名	港格別コードⅠ	※港格別コードⅡ	輸出	調査年(西暦)	検印
1	新規・変更・追加	〇〇県	〇〇港	1	特定重要港湾	1	10 11	
4	前除		※港コード	(甲種)	重要港湾	2	12 0 0 0	
			3		地方港湾	3	1 2 0 0 0	

長さ	種別 (コ付け)	仕向国	※	合計 (個又は台)				コンテナ個数 又は シャーシ台数				空コンテナ個数 又は 空シャーシ台数						
				13	17	18	19	26	27	34	35	42	43					
8ft	1																	
10ft	2																	
12ft	3																	
20ft	4																	
24ft	5																	
総計																		
総計(T/S)																		
20ft	計																	
	ドライ	韓国																
	ドライ	シンガポール																
	リーファー	韓国																
	リーファー	シンガポール																
40ft	計																	
	計(T/S)																	
	ドライ	韓国																
	ドライ	アメリカ																
	ドライ	アメリカ(T/S)																
	リーファー	韓国																
	リーファー	アメリカ																
	リーファー	アメリカ(T/S)																
	その他	韓国																

記入注意 ※印の欄は、記入しないで下さい。  
本表は、申告者から提出された当該港湾の調査票(第1号様式)の各該当欄を集計した結果を記載して下さい。

表-A.1 外貿コンテナの取り扱いのあった重要港湾におけるフレートトンベースでの輸送経路算定結果、TEUベースでの輸送経路推計結果及び海外フィーダー率の分析結果

<p>データ内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2003年港湾統計において、TEUベースで外貿コンテナの取り扱いのあった全ての重要港湾64港を対象とした。また、港湾名は、港湾調査規則別表によった。なお、本分析は、我が国を発着する国際海上コンテナ貨物を対象としており、トランシップは含まれていない。</li> <li>・ 「フレートトンベース経路算定」は、港湾統計のデータを、集計整理した結果である。</li> <li>・ 「TEUベース経路推計」は、港湾統計のデータを用いて、本資料に記載した手法により推計した結果である。なお、このTEUベースでの経路推計結果は、算定の過程において端数の処理があるため、年報等の数値と合わない場合がある。</li> <li>・ 参考までに、TEUベースの経路推計結果に併せて、港湾統計データを集計した空コンテナの取扱量も記載した。</li> <li>・ 「海外フィーダー率」は、全国輸出入コンテナ貨物流動調査（2003年10月）の結果（参考文献9）より）と、港湾統計データ（2003年、フレートトンベース）を用いた算定結果である。また、これらと比較した結果を【考察】に記した。なお、この【考察】の内容は、本文表-6の各行及び図-11の記号（○印、△印、▲印）と1対1に対応している。</li> </ul>
---